
2022年12月期 決算説明会

本社会場：2023年2月14日（火）

東京会場：2023年2月15日（水）



証券CODE:4971

<https://www.mec-co.com/>

2022年12月期 概況

+ 事業環境

個人消費の停滞により、パソコンやスマートフォン、ディスプレイ、タブレットPC等、コンシューマー向け電子機器需要は低調に推移。堅調であったデータセンターも在庫循環的な調整局面入りとなった。

+ 決算概況

前期比 増収増益

PKG基板向けに強みを持つ「CZシリーズ」が売上拡大に寄与。為替が円安に振れたことも影響し、増収増益となった。

+ 主要製品概況

CZ : 半導体市況の影響を受けたものの、PKG基板の大型・高多層化により堅調に推移し、売上拡大に寄与。

V-Bond : 自動車やスマートフォンの減産によりほぼ横ばい。

EXE : 消費マインドの冷え込みや在庫調整等の影響を受け大きく減少。

SF : 消費マインドの冷え込みや在庫調整等の影響を受け大きく減少。

諸問題に係る影響



ロシア/ウクライナ情勢

- ・ロシア、ウクライナ産原料は使用しておりません
- ・原油価格高騰に関しては、
 - ①直接原油に由来する原材料比率は比較的少ないが、購入価格には影響がでている。
 - ②輸送費への影響は計画に織り込み済み。



中国ゼロコロナ政策

- ・サプライチェーンの混乱、顧客の生産稼働率低下。



為替（円安）

- ・USD建て取引は少なく、NTDやRMBの影響を受ける。

1

売上：16,329百万円（前期比 8.6%増）
営業利益：4,004百万円（前期比 1.6%増）

2

為替の影響は前期比

売上：1,072百万円増、営業利益：618百万円増

3

薬品売上：16,042百万円（前期比 8.7%増）

出荷量：44,962t（前期比 0.7%減）

4

主要製品売上は前期比

CZ 21.6%増、EXE 33.1%減、SF 17.2%減、V-Bond 3.3%減

(単位：円)

	期初想定	2022Q4	2021Q4	2022Q3
N T D	4.16	4.40	3.93	4.37
R M B	18.07	19.39	17.04	19.33
H K D	14.75	16.70	14.14	16.34
T H B	3.44	3.73	3.44	3.69
E U R	130.51	137.93	130.11	136.04
U S D	115.01	130.78	109.86	128.03

- 海外現地法人は、基本的に現地通貨建てでの取引であり、連結会計で円換算する際に、円／現地通貨レートの影響を受ける。
- いずれも、期中平均レートを採用。
- 当社の主要外国通貨は、台湾ドル（NTD）、中国人民元（RMB）。
- 各通貨に対して想定レートから0.1円変動する場合の影響額は次のとおり。

NTD：（売上）79百万円（営業利益）54百万円

RMB：（売上）25百万円（営業利益）12百万円

*いずれも、当期累計実績

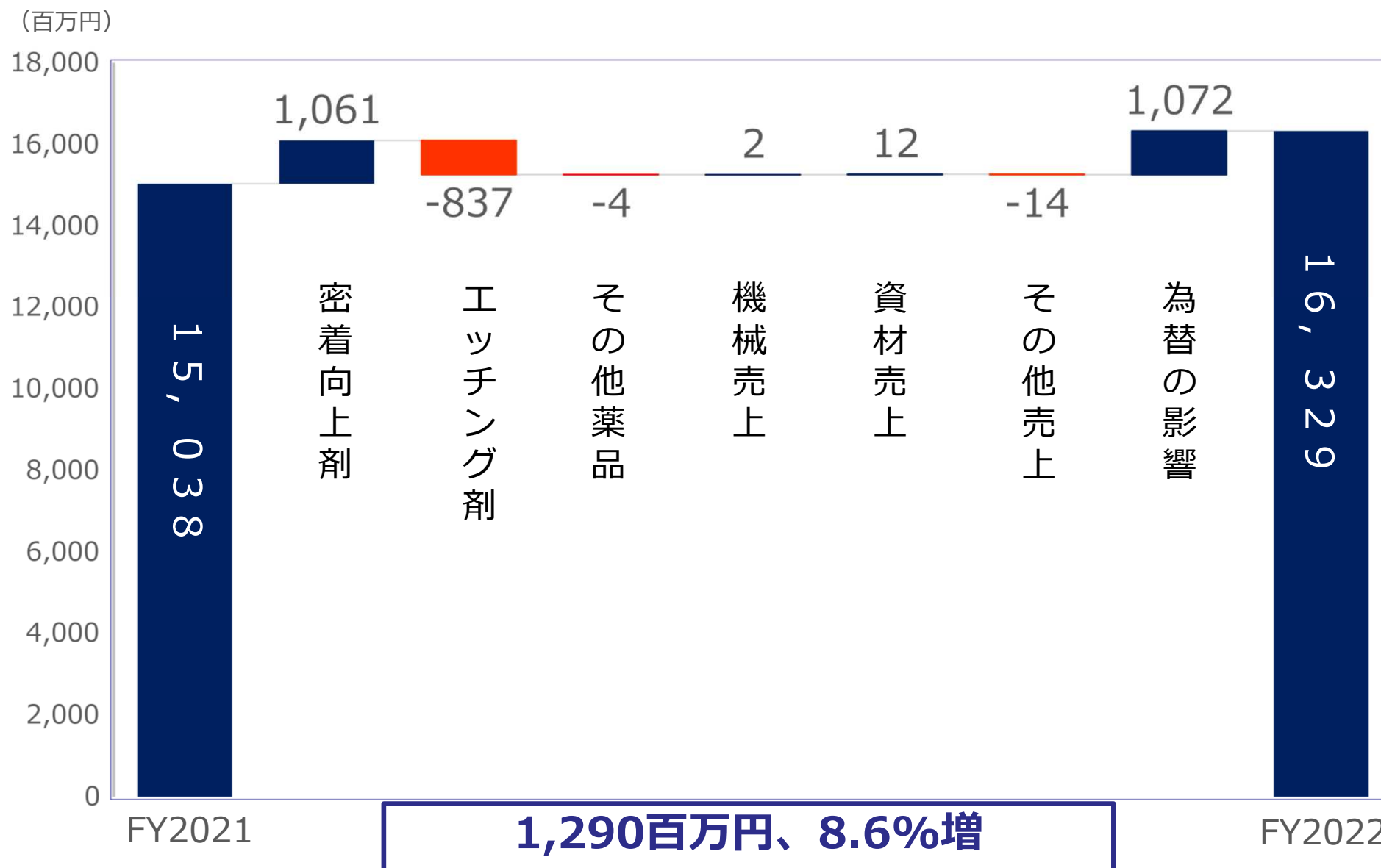
2022年12月期 業績概要



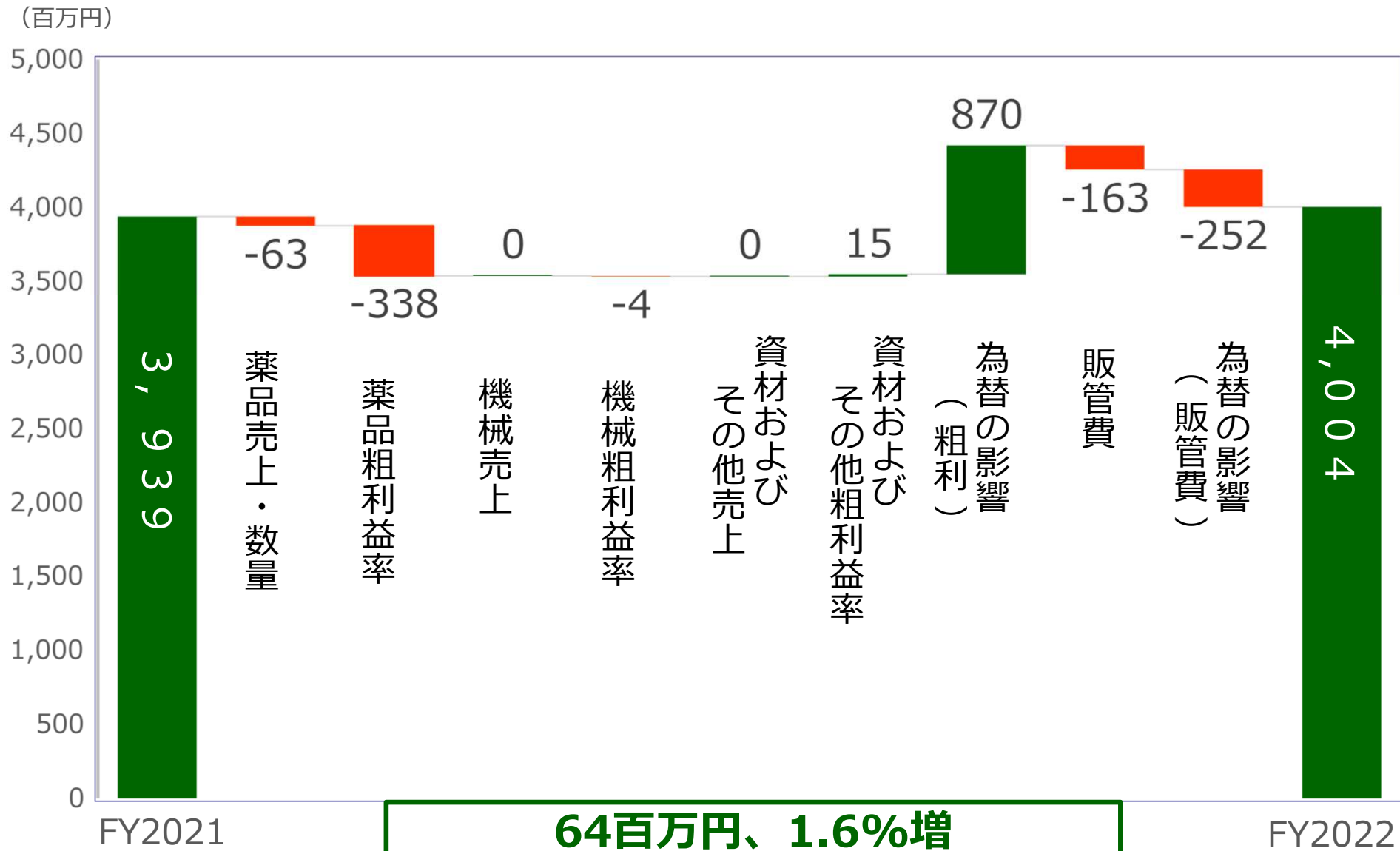
(単位：百万円)

項目	FY2021 (実績)	FY2022		
		(実績)	前期比	
売上高	15,038	16,329	1,290	8.6%
薬品売上高	14,756	16,042	1,285	8.7%
売上総利益	9,323	9,803	480	5.2%
売上総利益率	62.0%	60.0%	-2.0ppt	-
販売費及び一般管理費	5,383	5,799	415	7.7%
売上高比率	35.8%	35.5%	-0.3ppt	-
営業利益	3,939	4,004	64	1.6%
営業利益率	26.2%	24.5%	-1.7ppt	-
経常利益	4,104	4,246	142	3.5%
経常利益率	27.3%	26.0%	-1.3ppt	-
税引前当期利益	4,092	4,224	132	3.2%
当期純利益	2,949	3,064	115	3.9%
EBITDA	4,839	4,989	150	3.1%
1株当たり当期利益 (円)	155.28	161.22	-	-
1株当たり配当金 (円)	35.00	45.00	-	-

連結売上高前期比分析



連結営業利益前期比分析



連結貸借対照表要旨 資産

(百万円)

	FY2021	FY2022	特記事項
流動資産	13,839	15,987	現金、棚卸資産の増加等
固定資産	11,465	11,512	－
有形固定資産	8,891	8,959	－
無形固定資産	147	146	－
投資その他の資産	2,427	2,405	株価下落による減少等
資産合計	25,305	27,499	－

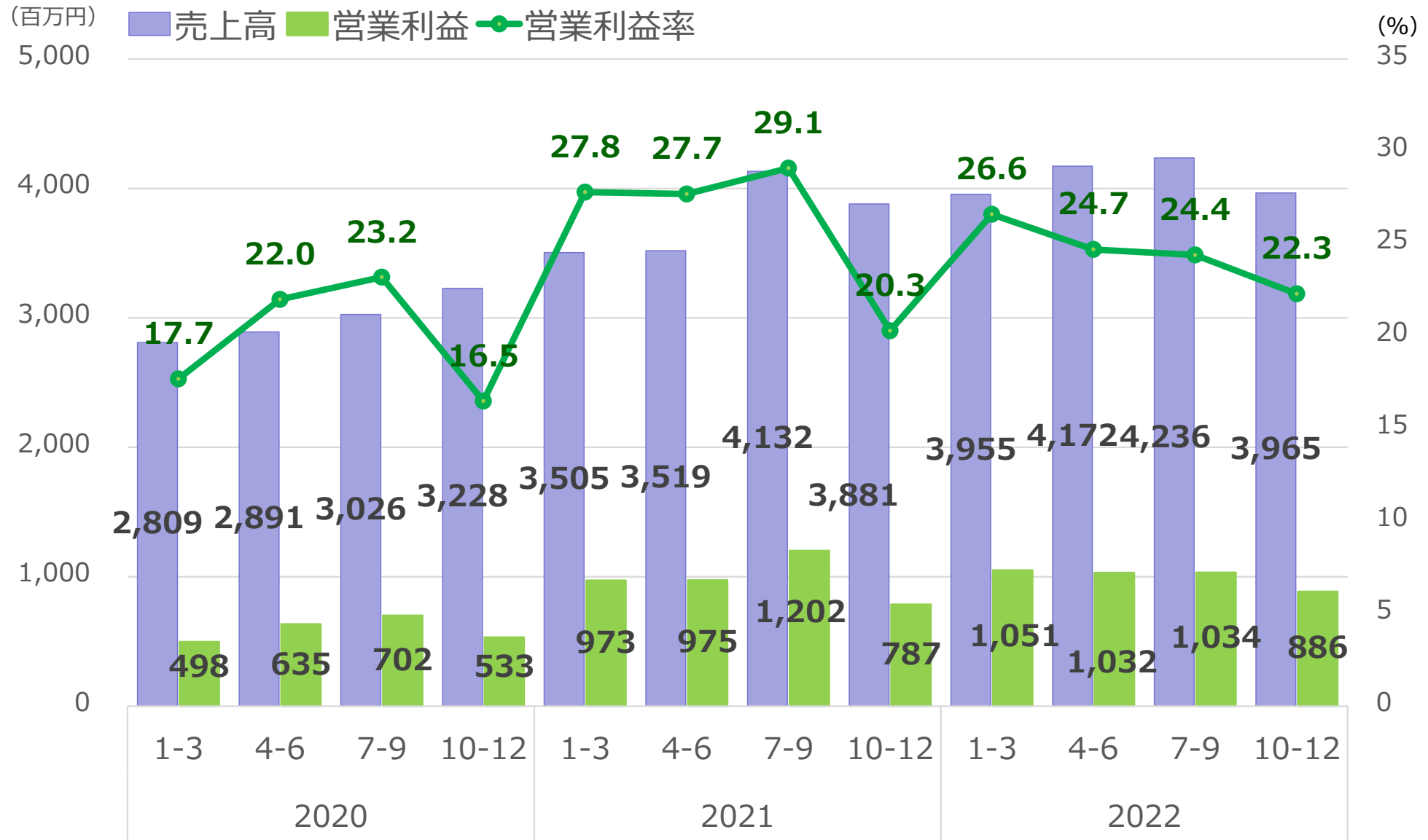
連結貸借対照表要旨 負債・純資産



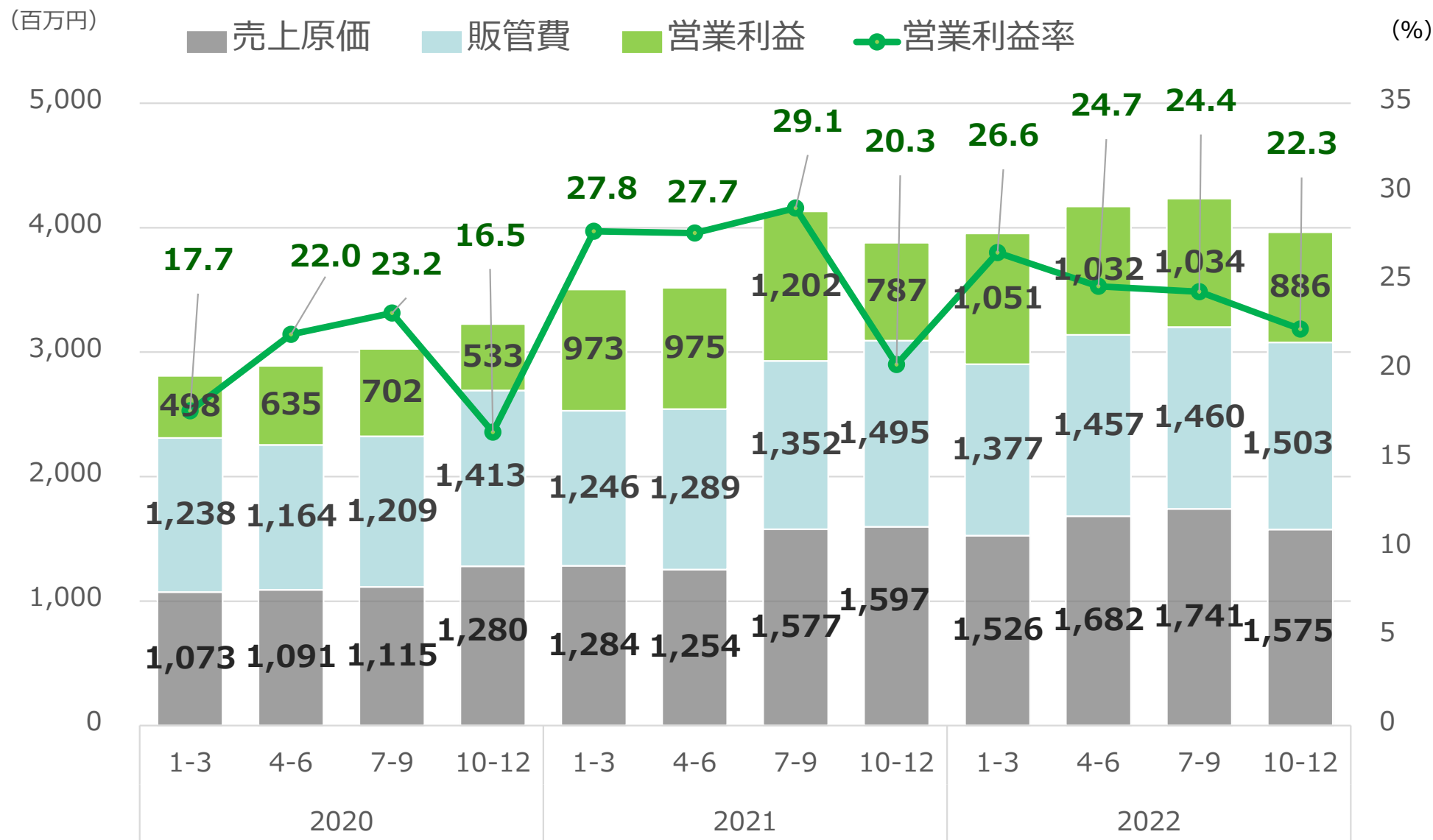
(百万円)

	FY2021	FY2022	特記事項
流動負債	3,791	3,562	未払法人税等の減少等
固定負債	584	611	－
負債合計	4,376	4,173	－
株主資本	18,990	21,278	利益剰余金の増加等
その他の 包括利益累計額	1,938	2,047	為替換算調整勘定の増加、その 他有価証券評価差額金の減少等
純資産合計	20,929	23,325	－
負債純資産合計	25,305	27,499	－

連結売上高と営業利益/営業利益率

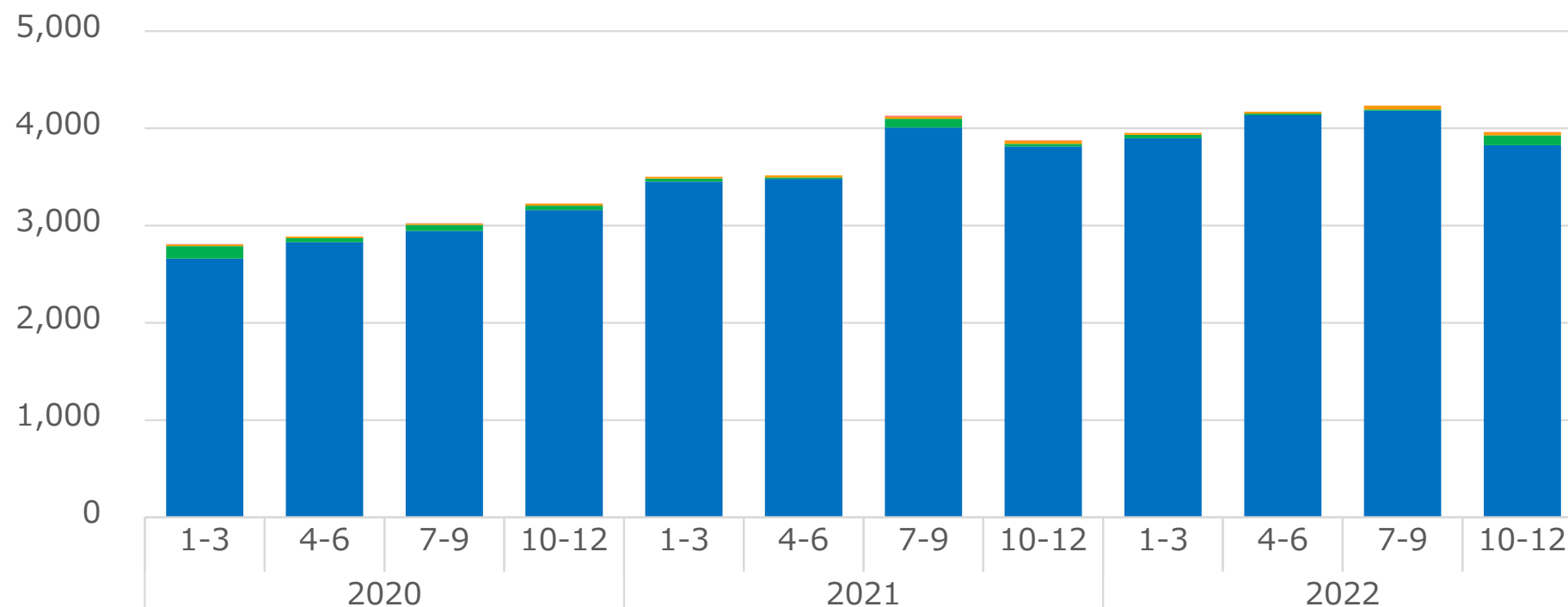


連結損益構造



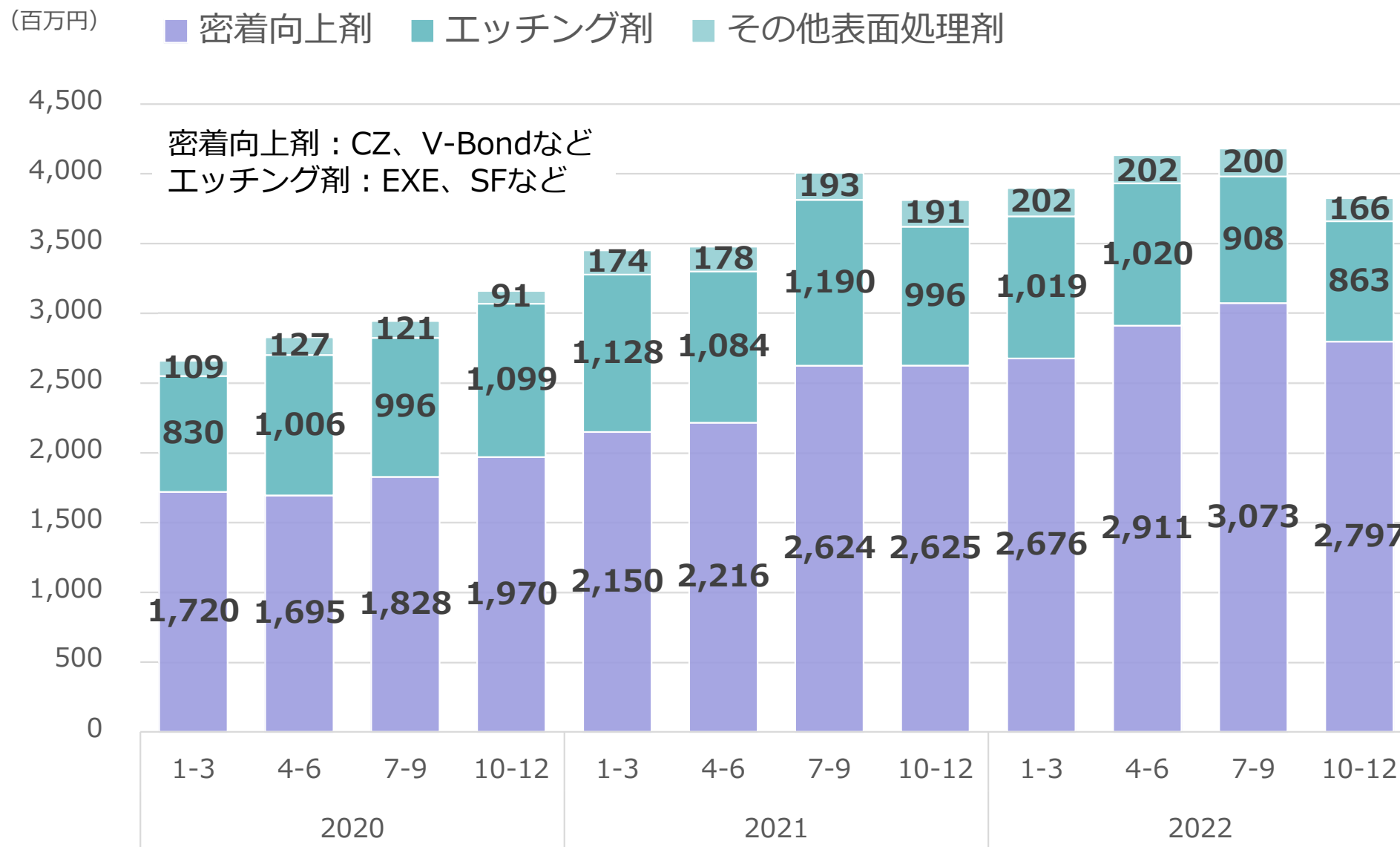
連結品種別売上高

(百万円) ■ 薬品 ■ 機械 ■ 資材 ■ その他

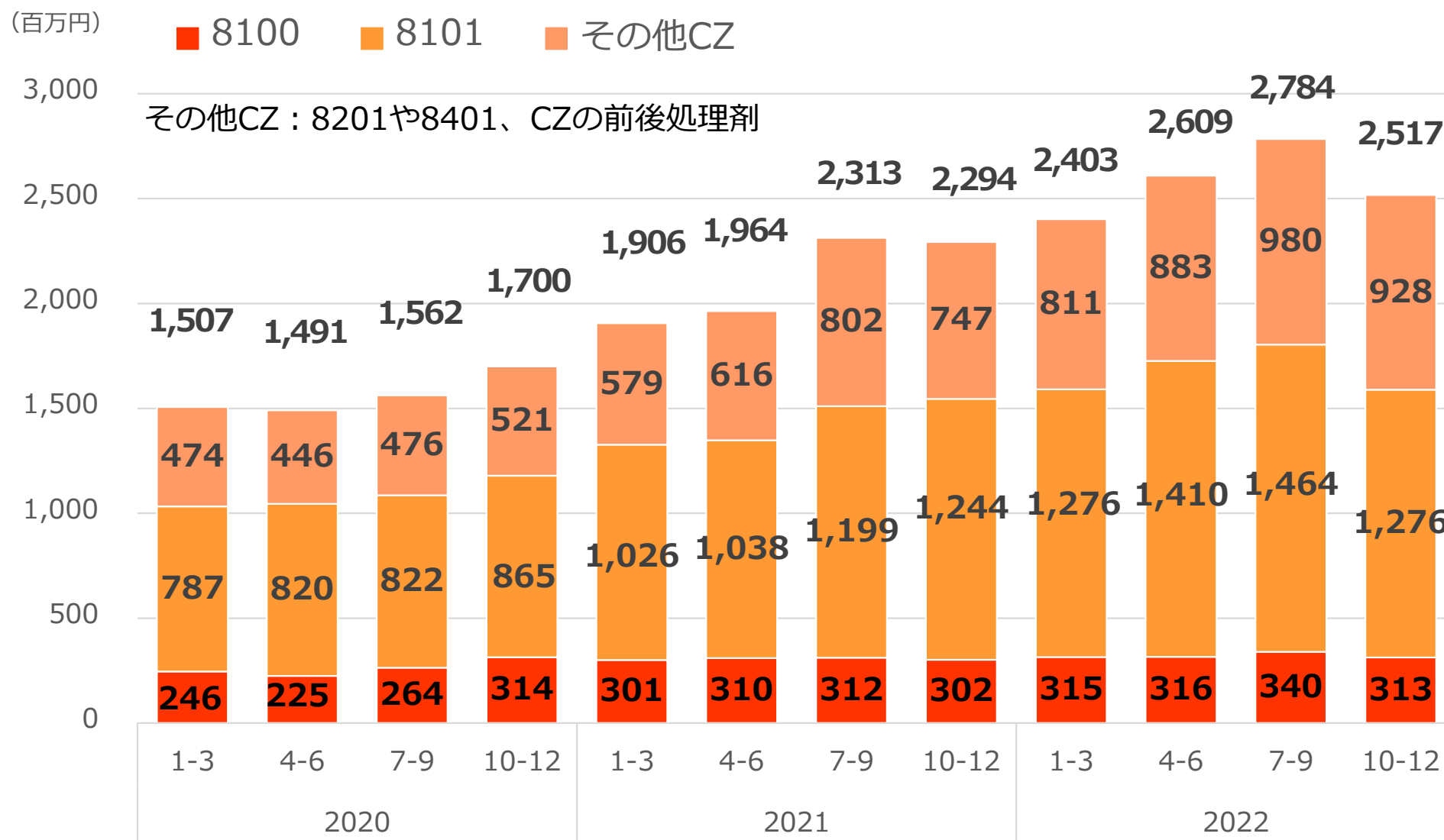


■ その他	4	1	5	0	2	0	13	6	1	1	1	3
■ 資材	17	16	12	21	16	21	19	33	18	19	38	31
■ 機械	129	43	62	46	33	16	90	27	36	17	13	102
■ 薬品	2,661	2,829	2,946	3,160	3,452	3,480	4,008	3,814	3,898	4,134	4,181	3,827

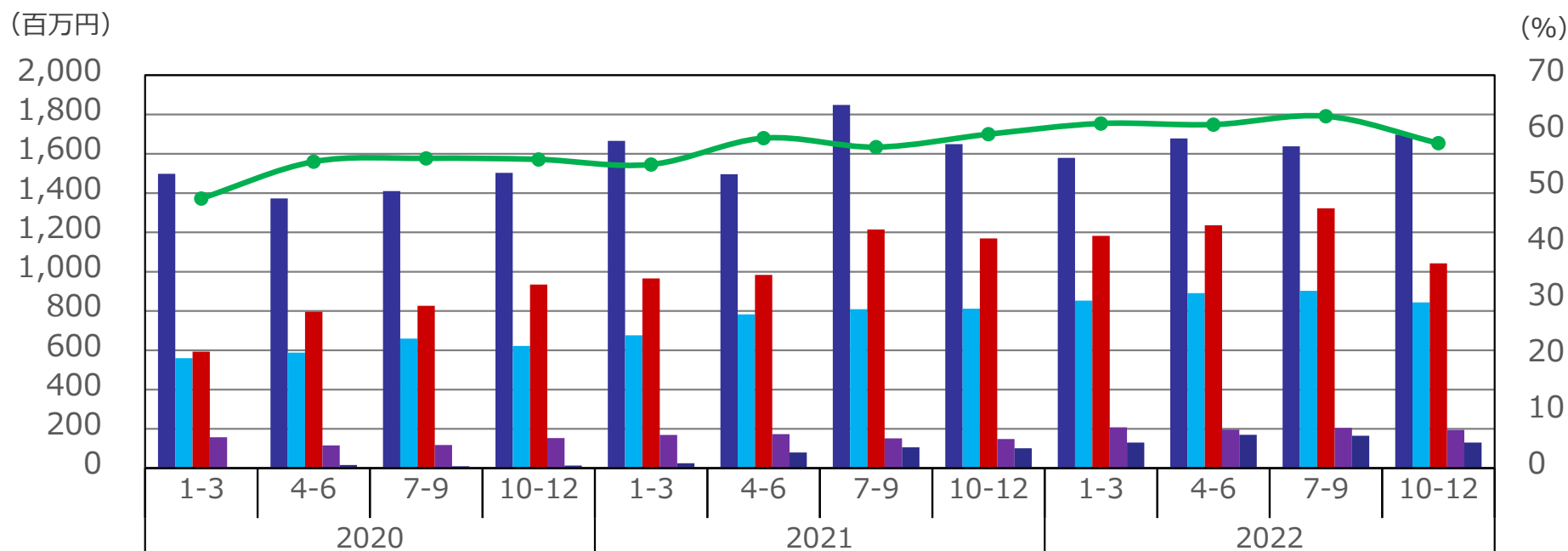
連結薬品別売上高



CZシリーズ売上高



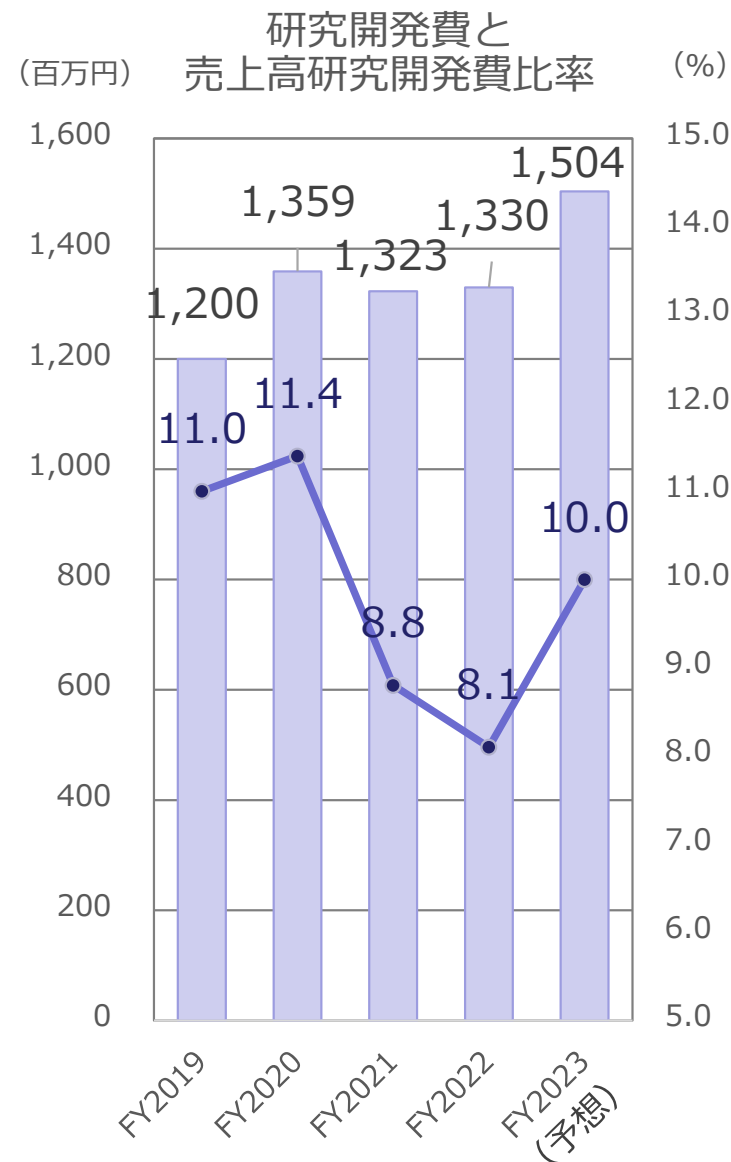
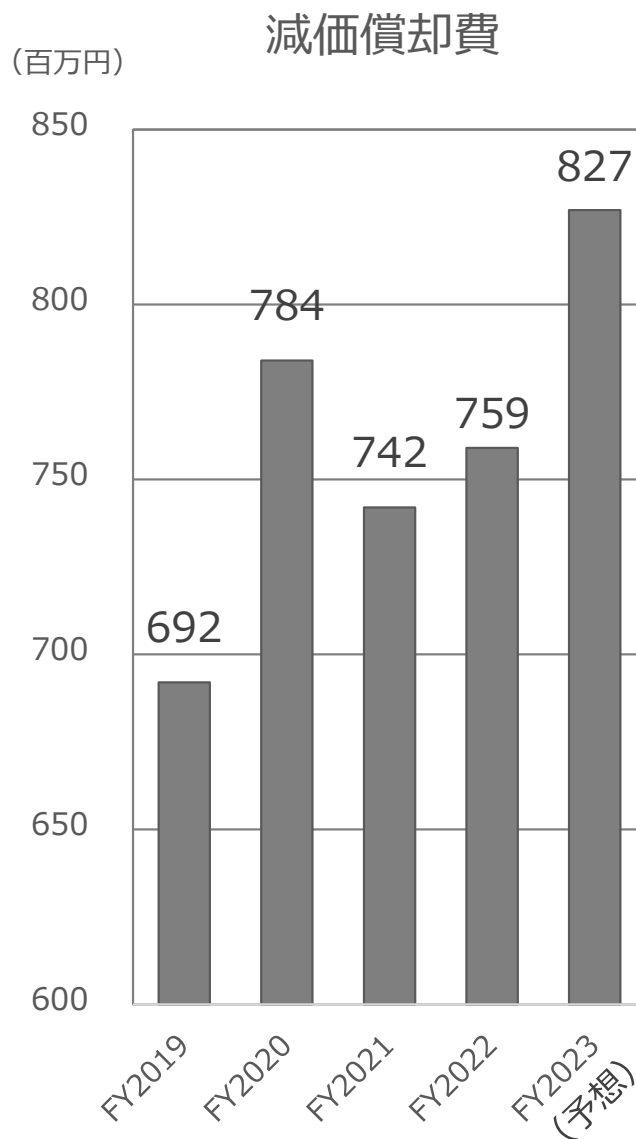
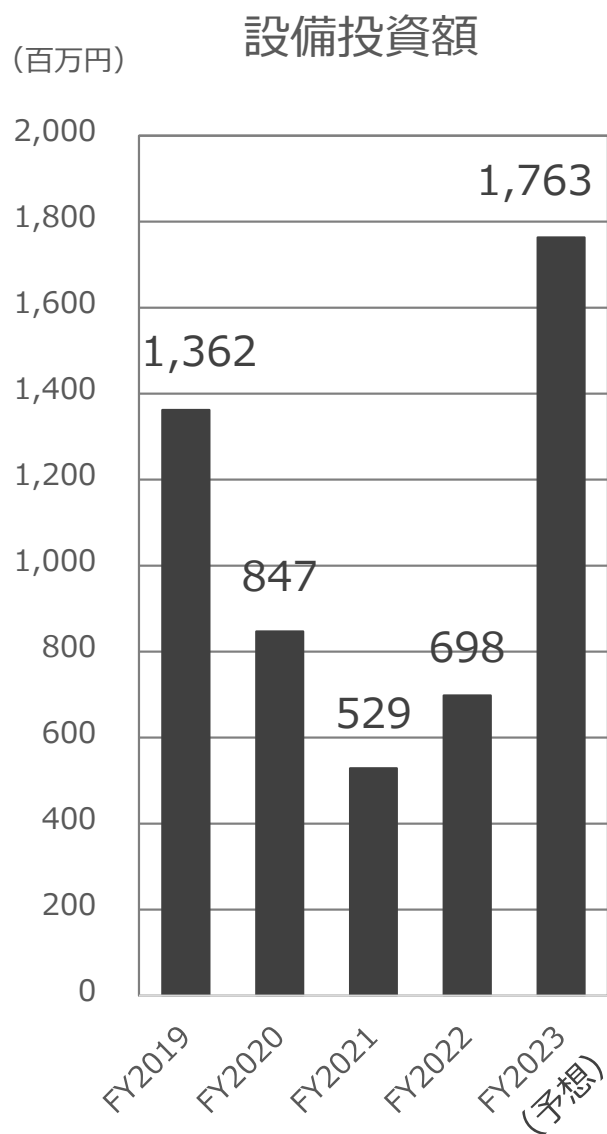
地域セグメント別売上高



■ 日本	1,498	1,373	1,410	1,503	1,666	1,496	1,849	1,649	1,579	1,678	1,638	1,698
■ 台湾	560	588	660	622	676	783	809	812	853	891	903	844
■ 中国	593	796	827	935	966	984	1,215	1,169	1,182	1,236	1,322	1,043
■ 欧州	157	116	118	153	169	173	152	148	208	196	205	195
■ タイ	0	16	10	13	25	80	106	101	130	170	165	130
● 海外売上高比率	48.0	54.6	55.2	55.0	54.1	58.8	57.2	59.5	61.4	61.2	62.7	57.9

- ・ 当社薬品海外使用分の国内代理店販売を海外売上高に加算した場合の比率は77.4% (前年同一期間は77.4%)。
- ・ タイ：メックタイは2019年9月稼働。

設備投資額と減価償却費、研究開発費



技術動向

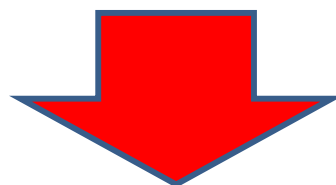
主要薬品用途と最終製品例

主要薬品	特徴	最終製品例
超粗化系密着向上剤 「CZシリーズ」	主にPKG基板向けの密着向上剤。銅と樹脂との密着性を高める銅表面処理剤。	5G関連・データセンター等のインフラ、パソコン・スマートフォン・タブレットPC等の高機能デバイス等
多層電子基板向け密着向上剤 「V-Bondシリーズ」	多層基板向けの密着向上剤。銅と樹脂との密着性を高める銅表面処理剤。PKGには使用されない。	スマートフォン・クルマ等
異方性エッチング 「EXEシリーズ」	COF基板向けのエッチング剤。サブトラで微細配線形成ができる。	テレビ・パソコンのモニター等
選択エッチング銅除去剤 「SFシリーズ」	銅への選択性を持ったエッチング剤。	タブレットPC等

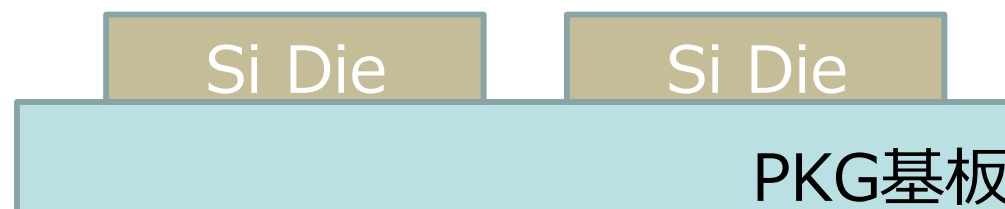
通常のPKG



一つのPKGに
一つの半導体



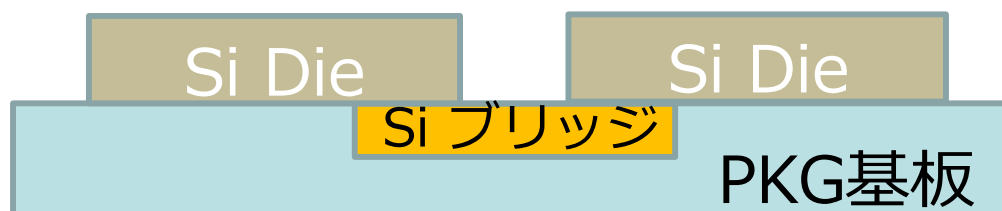
Chiplet



PKGを大きくして
複数個の半導体を搭載

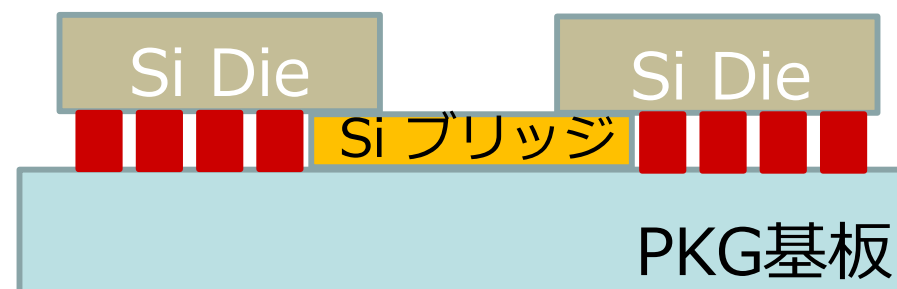
EMIB

(Embedded Multi-die Interconnect Bridge)



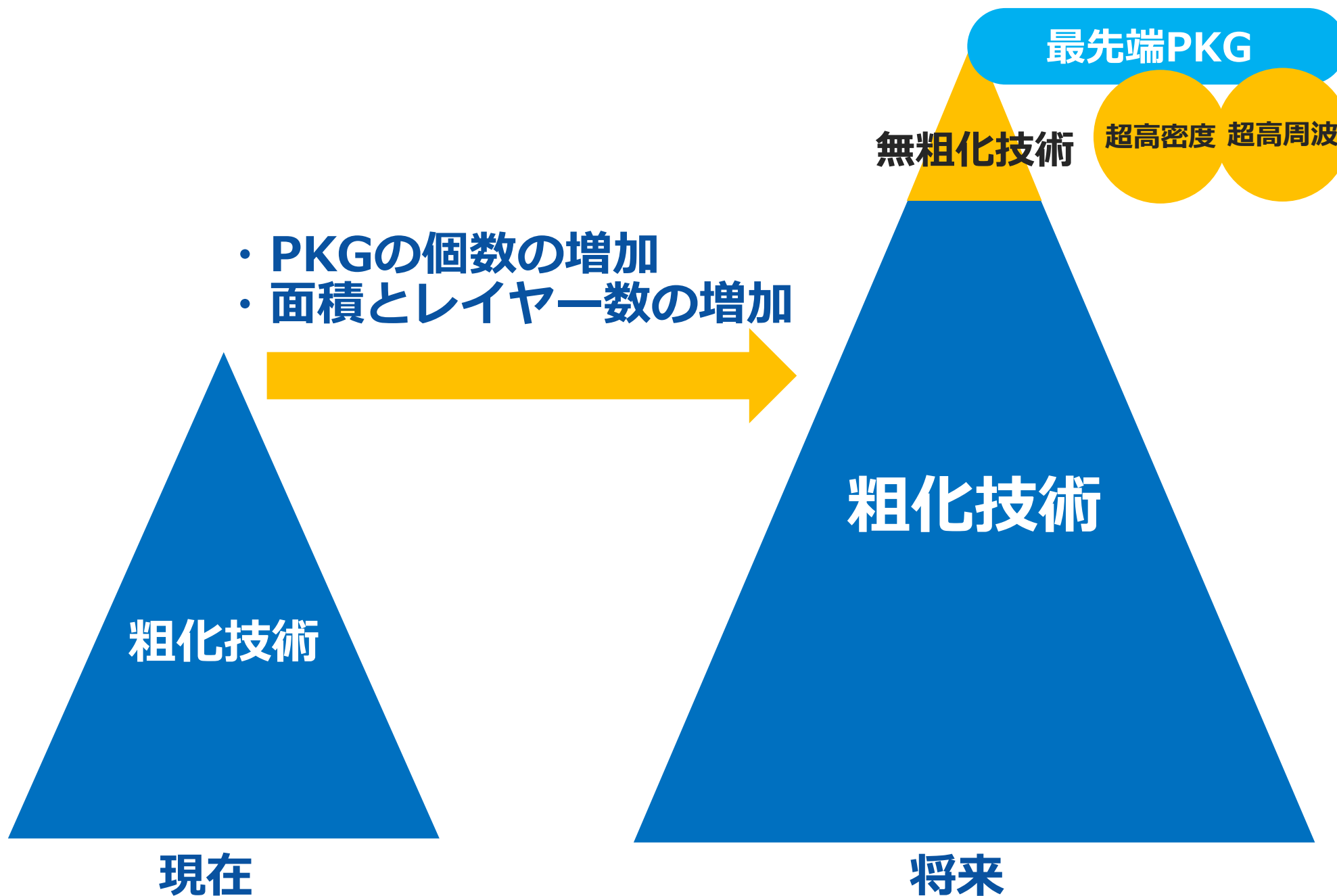
EFB

(Elevated Fanout Bridge)

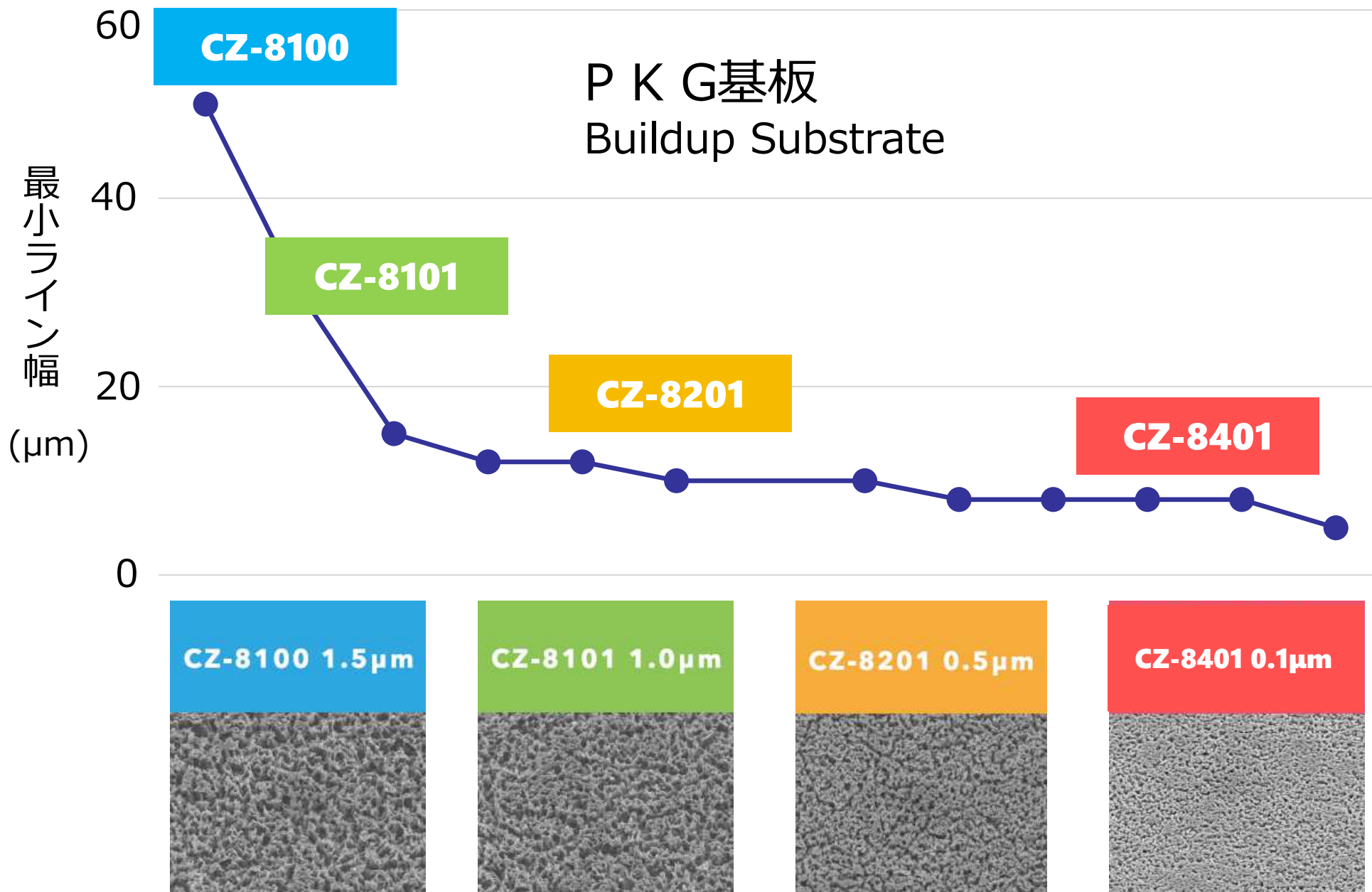


■ 銅ピラー

PKG基板サイズの大型化、層数の増加が見込まれる。



CZシリーズのロードマップ



今後の見通し

+ 事業環境

- ・短期的は、調整局面にある半導体市況や個人消費停滞等の影響を見込む。
- ・中長期的には、IoTやAI、5G、クルマの電動化やDX・GXの進展等の技術の広がりを背景に技術革新が進み、当社関連市場の拡大が進む。
- ・特に高まる半導体需要によるPKG基板の増加や高性能化による大型・高多層化により、関連する「CZシリーズ」需要の伸びを見込む。

+ 主要製品

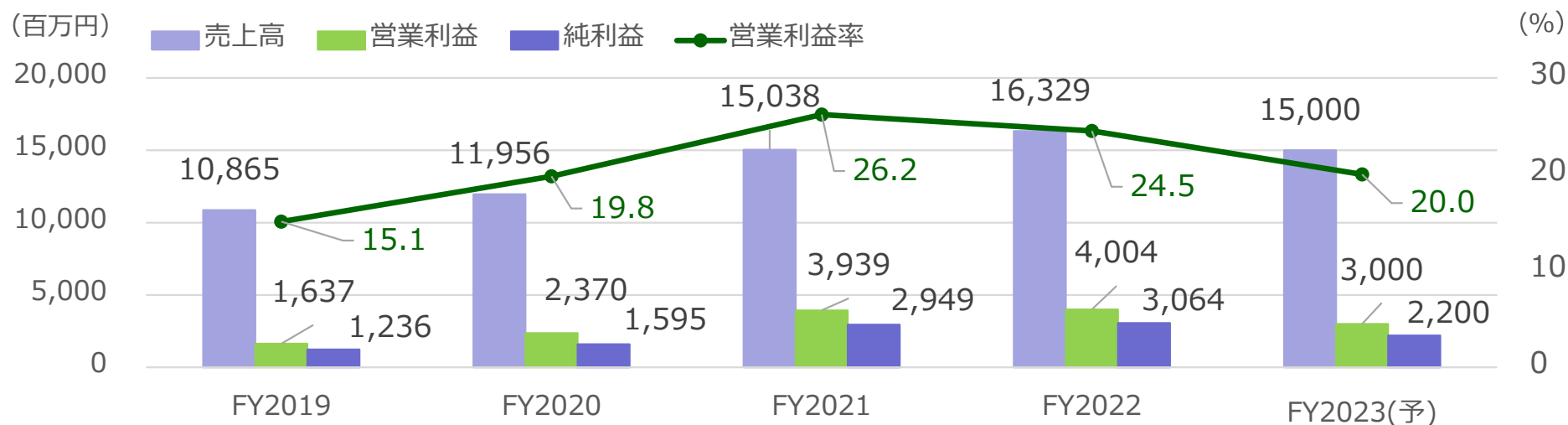
- CZ : 短期的には半導体市況停滞の影響受けるが、中長期的にはPKG基板の増加、大型・高多層化等により需要拡大の見通し。
- V-Bond : 短期的にはクルマの減産や部品在庫調整、個人消費停滞に伴うスマートフォン需要低迷の影響を受ける見通し。
- EXE : 短期的にはディスプレイの在庫調整の影響を受ける見通し。
- SF : スマートフォン向けは技術変化により減少、タブレットPC向け需要は継続する見通し。

+ 為替レート

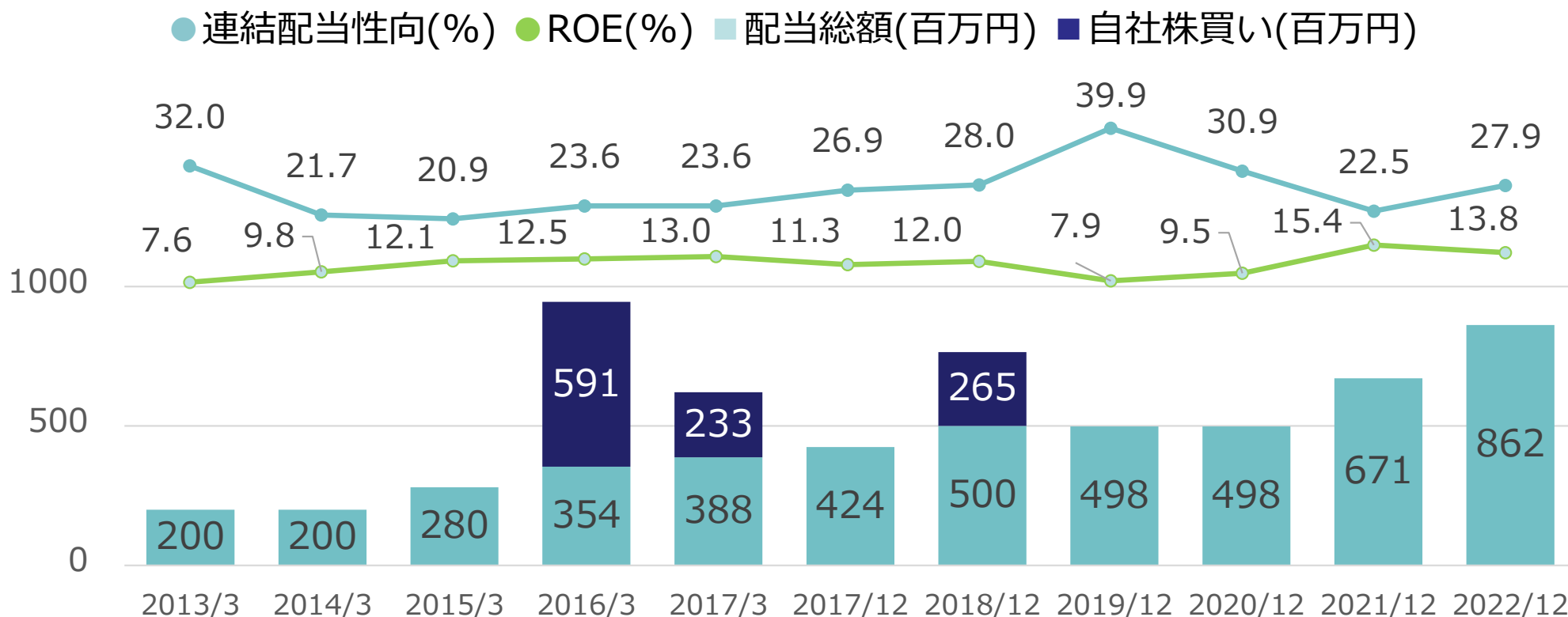
	NTD	RMB	HKD	THB	EUR	USD
FY2022実勢	4.40	19.39	16.70	3.73	137.93	130.78
FY2023想定	4.37	19.33	16.34	3.69	136.04	128.03

2023年12月期 連結業績予想

	FY2022		FY2023					
	百万円	利益率 (%)	1H			Full-year		
			百万円	利益率 (%)	増減率	百万円	利益率 (%)	増減率
売上高	16,329	-	6,500	-	20.0%減	15,000	-	8.1%減
営業利益	4,004	24.5	800	12.3	61.6%減	3,000	20.0	25.1%減
経常利益	4,246	26.0	850	13.1	64.2%減	3,100	20.7	27.0%減
純利益	3,064	18.8	600	9.2	63.9%減	2,200	14.7	28.2%減
1株当たり純利益(円)	161.22	-	31.56	-	-	115.72	-	-



配当金総額と連結配当性向、ROEの推移



④ 配当性向

中期目標 連結配当性向 30%

④ ROE

2024年目標 10%以上

④ 2023年12月期 配当予想

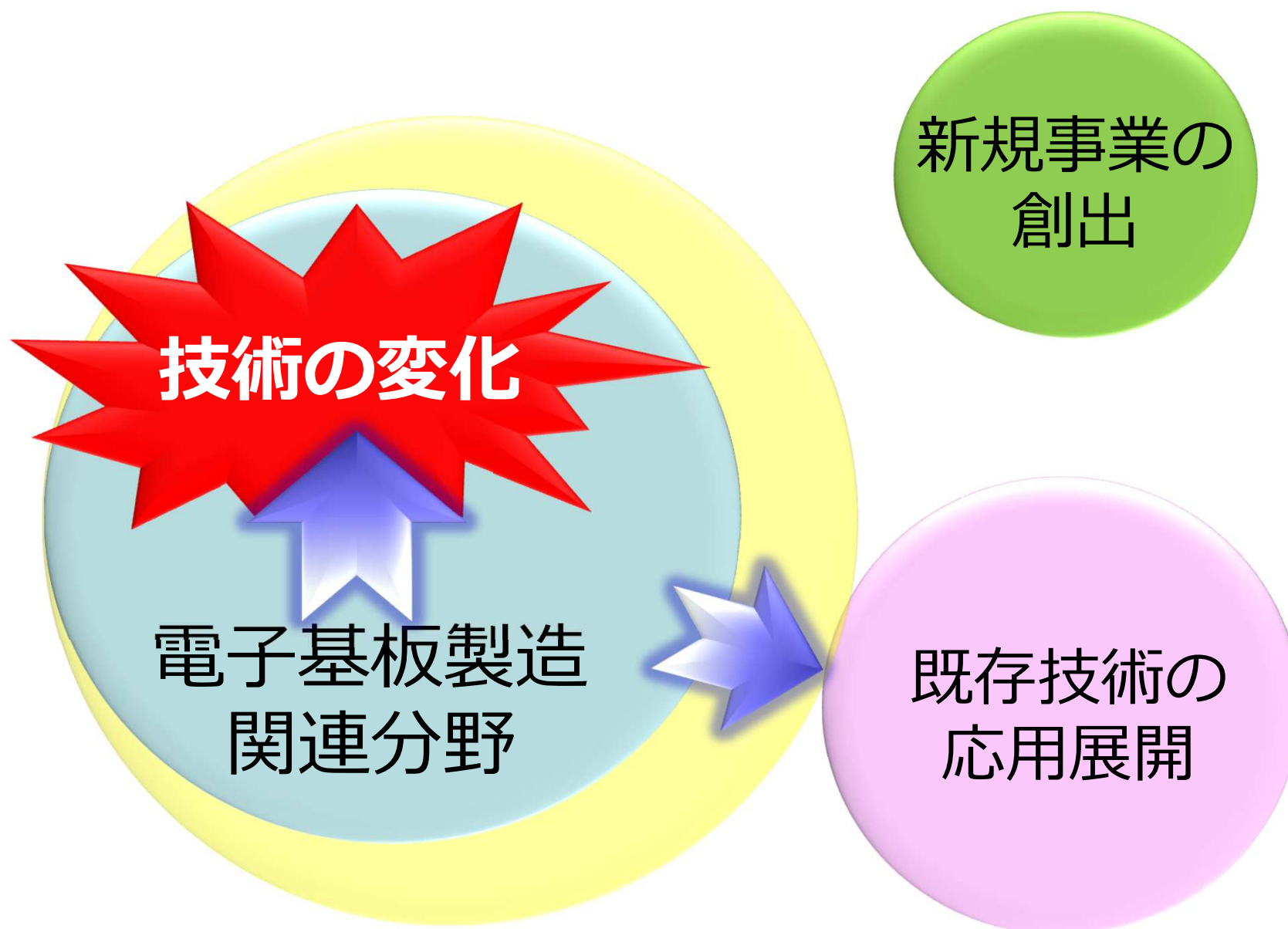
45.0円 (中間 20.0円、期末 25.0円、連結配当性向38.9%)

未来を切り拓く研究開発	高付加価値製品の開発・提供 お客さまの生産効率向上・歩留まり向上への寄与 環境負荷低減製品の開発
適正な調達、生産、物流	SCM、グリーン調達、グローバル調達 グローバル生産・供給体制の構築
環境保全	適正な化学物質管理 BCP対応
品質と安全	安全衛生管理、品質保証 ステークホルダーとの長期的信頼関係構築
多様な人財の活用	健康経営、ワークライフバランス キャリア形成、自立自走し連帯（エンゲージメント）
経営基盤の強化	ガバナンス 適正な情報開示、セキュリティ リスクマネジメント

当社が関わるSDGs

当社の使命	産業の発展に寄与し、企業として成長する	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
当社の責任	資源を使用し、化学物質を扱う者として 調達・取扱い・製品開発・製造・廃棄に責任	12 つくる責任 つかう責任
事業を通して 実現する世界	人として幸福に・成長を	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
	水	6 安全な水とトイレを世界中に 14 海の豊かさを守ろう
	平等協働	10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
課 題	気候変動への貢献エネルギー問題	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
社会貢献	森づくり	15 陸の豊かさを守ろう

研究開発に関する 投資	毎年 連結売上高の約 10%
設備投資	3年（2022～2024年）累計 約 50億円
株主還元	1株あたり年間配当金の維持・成長 （連結配当性向：30%目標） 自己株取得は状況に応じて機動的に実施



參考資料

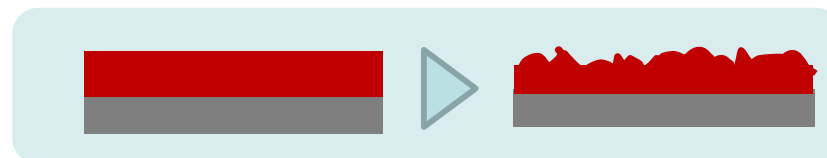
(2022年12月31日現在)

社名	メック株式会社 MEC COMPANY LTD.
本社所在地	兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号
設立年月日	1969（昭和44）年5月1日
主な業務内容	電子基板・部品製造用薬品の開発・製造販売 及び 機械装置、各種資材の販売
代表者	代表取締役社長 前田 和夫
資本金	5億9,414万2,400円
連結売上高	163億29百万円
上場市場	東証プライム市場（4971／化学セクター）
従業員数	連結438名、単体253名

界面価値創造

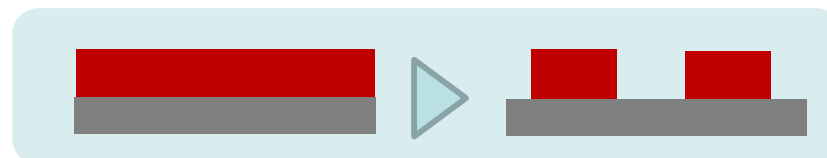
- **表面を粗化し、機械的に密着性を向上**

CZ、V-Bond



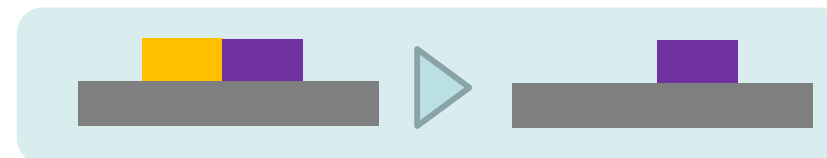
- **配線を形成する**

EXE

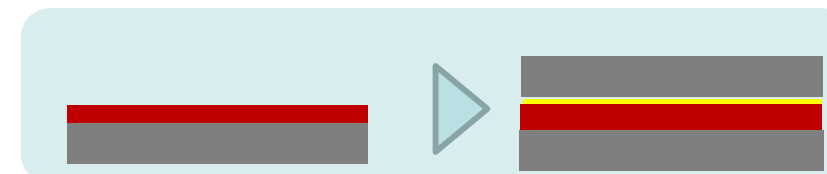


- **選択エッチング**

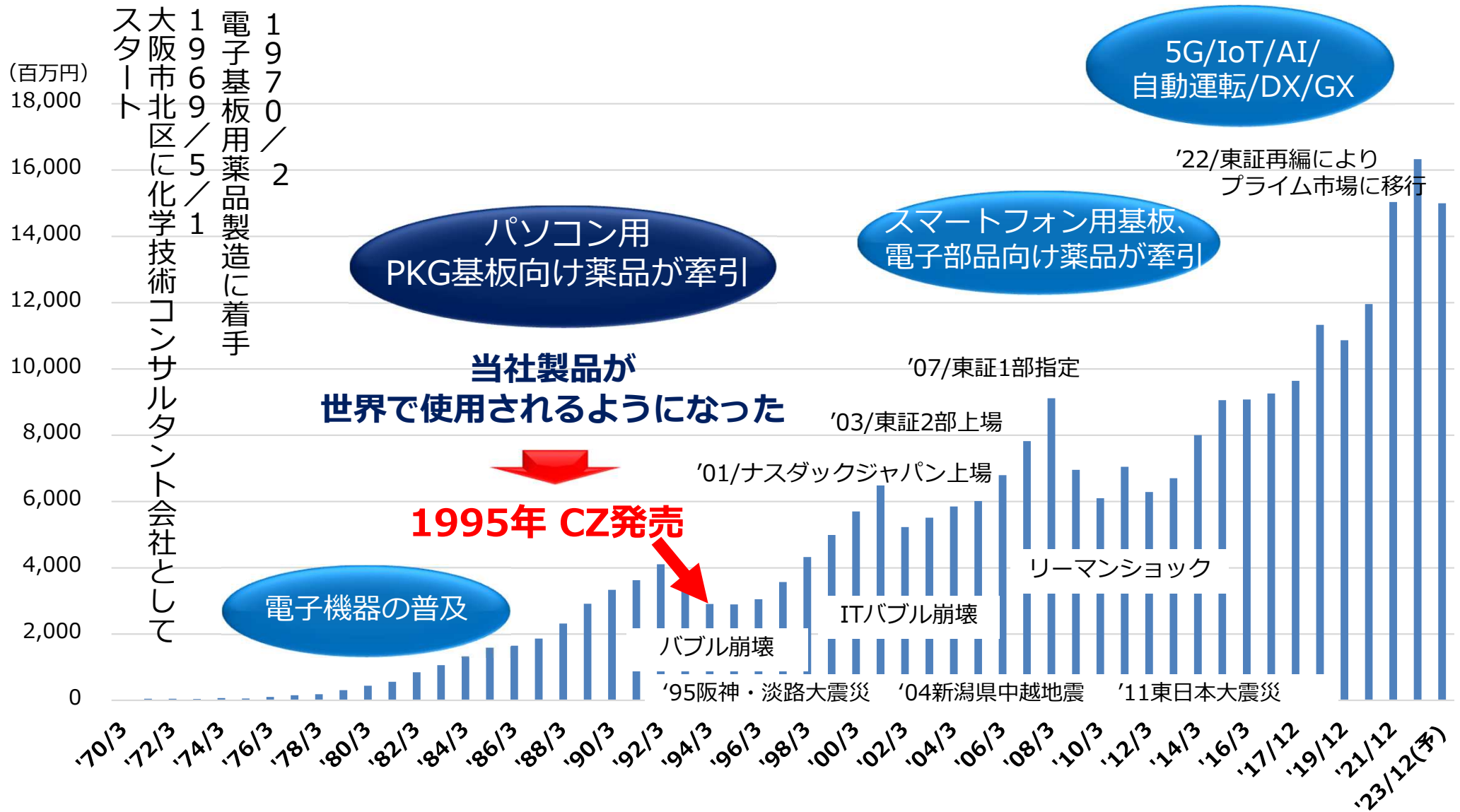
SF



- **表面を処理し、化学的に密着性を向上**



創業からの売上推移





尼崎工場（少量多品種）
900 t /月



長岡工場（量産工場）
1,800 t /月



メック台湾
1,200 t /月



メック中国（蘇州）
450 t /月



メック珠海
750 t /月



メックヨーロッパ
400 t /月



メックタイ
500 t /月

界面価値創造

Creating and Fostering Value at Various Interfaces

このプレゼンテーション資料には、2023年2月14日現在の将来に関する予測が含まれております。記述している将来予測および業績予測は、当社が現時点で入手できる情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知ください。

